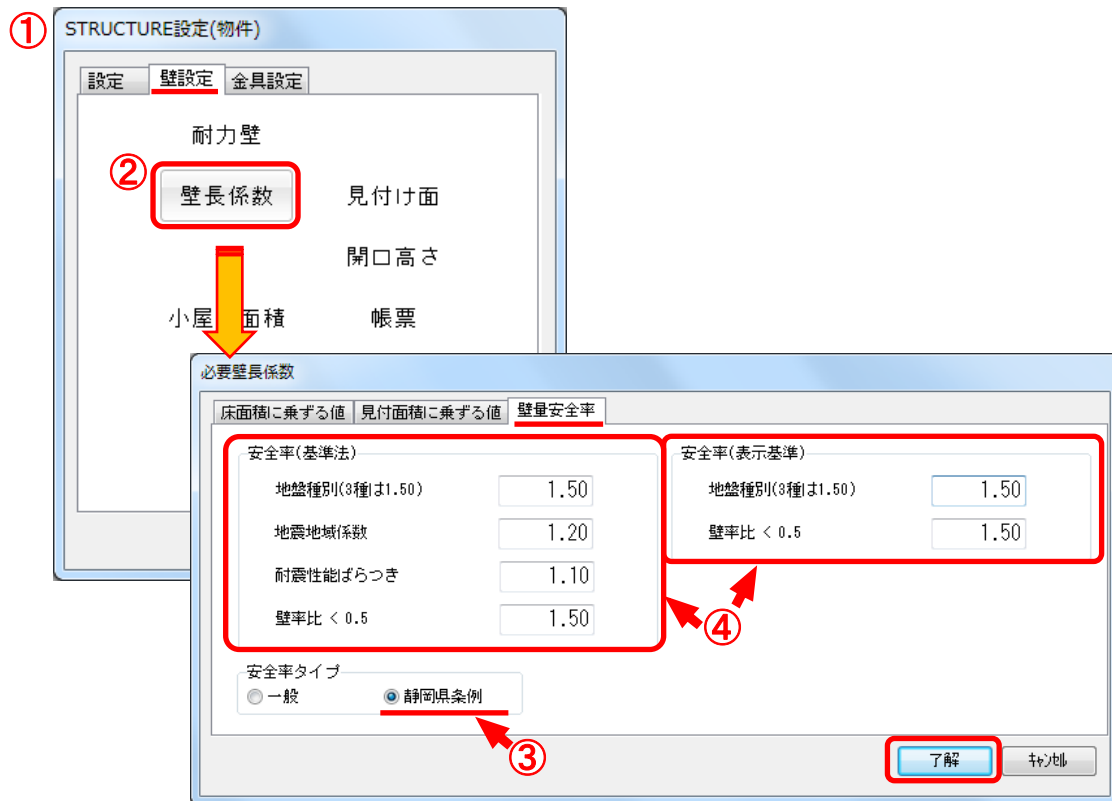


静岡県条例の安全率設定



静岡県条例の安全率の設定ができます。

- ① 〔設定〕－〔物件設定〕をクリックします。「STRUCTURE 設定」のダイアログが表示されます。
- ② 「壁設定」タブを選択し、「壁長係数」をクリックします。
- ③ 「壁量安全率」タブを選択し、安全率タイプで「静岡県条例」を選択します。
- ④ 安全率をそれぞれ設定して、「了解」をクリックします。

静岡県条例の安全率設定

〔印刷 - 壁量計算 - 壁量計算書〕

耐力壁配置図

Y面立面図

1階 2階

(基準法) で設定した安全率で地震力に対する必要壁量を算出します。

地震力に対する必要壁量		
床面積 × 集める値 × 地震種別 × 地震地域係数 × 耐震性能ばらつき × 壁率比 < 0.5 = 必要壁量		
2階	50.5141m ² × 15cm/m ² × 1.5 × 1.2 × 1.1 × 1.0 = ① 1500.2688cm	
1階	53.8265m ² × 29cm/m ² × 1.5 × 1.2 × 1.1 × 1.5 = ② 4636.0765cm	
風圧力に対する必要壁量		
X面 (A) より 見付面積 × 集める値 = 必要壁量	Y面 (B) より 見付面積 × 集める値 = 必要壁量	
2階	26.4093m ² × 50cm/m ² = ③ 1320.4650cm	16.0701m ² × 50cm/m ² = ④ 803.5050cm
1階	55.5915m ² × 50cm/m ² = ⑤ 2779.5750cm	34.7251m ² × 50cm/m ² = ⑥ 1736.2550cm

〔印刷 - 性能表示 - 表 3 : 性能表示基準の壁量計算〕

表 3 : 性能表示基準の壁量計算

(1) 存在壁量計算	(2) 耐力壁の存在壁量計算	(3) 耐力壁の存在壁量	(4) 耐力壁の存在壁量	(5) 耐力壁の存在壁量	(6) 耐力壁の存在壁量	(7) 耐力壁の存在壁量	(8) 耐力壁の存在壁量	(9) 耐力壁の存在壁量	(10) 耐力壁の存在壁量	(11) 耐力壁の存在壁量	(12) 耐力壁の存在壁量	(13) 耐力壁の存在壁量	(14) 耐力壁の存在壁量	(15) 耐力壁の存在壁量	(16) 耐力壁の存在壁量
2階	2957.50	0.29	819.00	237.51	4605.51	50.5141	0.8943	1.3783	1.00	22	0	30.3226	1531.7189	2.0045	
1階	2781.00	0.28	182.00	50.96	3522.65	56.4837	0.8943	0.9366	1.00	54	0	50.5764	2856.7423	0.5480	

(表示基準) で設定した安全率で地震力に対する必要壁量を算出します。



静岡県条例で設定値が“0”の場合は“0”を掛けて検討され、必要壁量や充足率が“0”となりますのでご注意ください。

必要壁長係数

安全率(基準法)

地震種別(3種)は1.50

地震地域係数

耐震性能ばらつき

壁率比 < 0.5

安全率タイプ

一般 静岡県条例

安全率(表示基準)

地震種別(3種)は1.50

壁率比 < 0.5

0.00

0.00

了解 転写

(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
30.3226	1531.7189	0.0000	不通過	16.0701

静岡県条例の安全率設定



◆壁量計算書のレイアウトを変更し、必要壁量の計算や存在壁量計算表の判定結果が確認しやすくなりました。

また、見付面積計算と壁量計算用床面積の計算時に小数以下 6 桁まで検討するようにし、合計値を少数第 4 位まで表示するようにしました。

〔印刷 - 壁量計算 - 壁量計算書〕

X 方向見付面積 (m ²)				Y 方向見付面積 (m ²)			
e1	1.233929	×	0.335000	=	0.413367	b1	(0.174929 + 0.375929) × 0.335000 / 2 = 0.092269
e2	2.326929	×	3.250000	=	7.562520	b2	(1.468929 + 3.418929) × 3.250000 / 2 = 7.942770
e3	(2.326929 + 3.418929)	×	1.820000	/ 2 =	5.228731	b3	(3.418929 + 1.468929) × 3.250000 / 2 = 7.942770
e4	(3.418929 + 2.326929)	×	1.820000	/ 2 =	5.228731	b4	(0.375929 + 0.174929) × 0.335000 / 2 = 0.092269
e5	2.326929	×	3.250000	=	7.562520		
e6	1.233929	×	0.335000	=	0.413367		
2階 見付面積				=	26.4093	2階 見付面積	16.0701
1階 見付面積				=	55.5915	1階 見付面積	34.7251

桁数の見直し

地震力と風圧力の必要壁量の計算の表を表示。
壁量計算安全率設定時は安全率も計算式に表示。

1階				2階				
必要壁量計算表								
地震力に対する必要壁量								
床面積 × 乗ずる値 × 壁量安全率 = 必要壁量								
2階	44.4262m ²	×	15cm/m ² × 1.20 = ①	799.6716cm				
1階	55.4827m ²	×	29cm/m ² × 1.20 = ②	1930.7980cm				
風圧力に対する必要壁量								
X 面 (A) より 見付面積 × 乗ずる値 × 壁量安全率 = 必要壁量				Y 面 (B) より 見付面積 × 乗ずる値 × 壁量安全率 = 必要壁量				
2階	26.4093m ²	×	50cm/m ² × 1.10 = ③	1452.5115cm	16.0701m ²	×	50cm/m ² × 1.10 = ④	883.8555cm
1階	55.5915m ²	×	50cm/m ² × 1.10 = ⑤	3057.5325cm	34.7251m ²	×	50cm/m ² × 1.10 = ⑥	1909.8805cm
存在壁量計算表 (壁量子エック)								
X 方向に配置された耐力壁				Y 方向に配置された耐力壁				
	壁高 (cm)	間率 ヶ所	有効壁長 (cm)		壁高 (cm)	間率 ヶ所	有効壁長 (cm)	
C1:構造用合板 7.5mm以上	91.00	× 2.5 × 13 =	2957.50cm	D1:構造用合板 7.5mm以上	91.00	× 2.5 × 8 =	1820.00cm	
2階壁長			2957.50cm	2階壁長			1820.00cm	
判定	2957.50cm >	③883.8555cm	3.34	OK	判定	1820.00cm >	④1452.5115cm	
A1:構造用合板 7.5mm以上	136.50	× 2.5 × 2 =	682.50cm	B1:構造用合板 7.5mm以上	182.00	× 2.5 × 1 =	455.00cm	
A2:	91.00	× 2.5 × 6 =	1365.00cm	B2:	91.00	× 2.5 × 7 =	1592.50cm	
A3:	75.00	× 2.5 × 1 =	187.50cm	B3:4.5 × 9.0	182.00	× 2.0 × 1 =	364.00cm	
A4:4.5 × 9.0	91.00	× 2.0 × 2 =	364.00cm	B4:	91.00	× 2.0 × 2 =	364.00cm	
1階壁長			2599.00cm	1階壁長			2775.50cm	
判定	2599.00cm >	⑤1930.7980cm	1.34	OK	判定	2775.50cm <	⑥3057.5325cm	

判定欄を追加

※少数点以下の桁数変更に伴い、バージョンアップ前と判定結果が変わる場合があります。